平成 25 年 3 月 25 日

各　位

〔会社名〕　極東貿易株式会社
〔代表者名〕　代表取締役社長　廣阪　明
（コード番号８０９３・東証第１部）
〔問合せ先〕　執行役員
管理企画グループ長　苫米地　信輝
(TEL. 03－3244－3592)

極東貿易株式会社グループ新中期経営計画「KBK 2013」について

当社グループはこのたび 2013 年度（平成 26 年 3 月期）から 2015 年度（平成 28 年 3 月期）を対象期間とする、新たな中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

2012 年度（平成 25 年 3 月期）を最終年度とする前中期経営計画においては、「信用力の回復」及び「収益力の回復」を経営ミッションに掲げ、復活から飛躍への基盤を固めるべく企業価値の向上を図って参りましたが、リーマンショック後の世界経済の落ち込みと、我が国にとって未曾有の大惨事となった東日本大震災などの影響を受け、定量目標の達成にはいたりませんでした。然しながら、この期間においても、数社の事業買収を行い、海外展開においても、ブラジル・サンパウロに現地法人を設立するなど、将来の成長に向けた戦略を着々と実行に移してまいりました。当社グループは、エンジニアリング商社としての本業に徹し、既存事業の基盤を強固にしつつ、エネルギー分野への積極的な取組みを行うことと並行して、ニッチな分野でグローバルに事業を展開する企業グループを目指しております。
2013 年度（平成 26 年 3 月期）からの新中期経営計画「KBK 2013」においては、エンジニアリング商社としての技術力を一層向上し、より高い付加価値を顧客に提供することにより、当社グループの収益力を強化することを図り、株主価値の向上に努めます。また、海外戦略やグループ戦略を軸に事業展開を拡大し、既存事業においてもエネルギー関連事業などに積極的に取り組むことにより、財務体質の強化とともに株主資本の充実等による企業価値の向上を図ってまいります。

1.　経営理念

社是「人と技術と信頼と」に基づく当社グループの経営理念の下に、エンジニアリング商社としての機能を推進し、商社機能とメーカー機能を融合した当社グループの強みを進展させ、持続的

な成長によって事業拡大を目指します。

2. 経営ミッション

（1）収益力の強化

大胆な経費削減と積極的な事業活動を実行することにより、収益力の向上を図ると共に、成長戦略に基づいた安定的な収益基盤を築きます。

（2）株主価値の向上

営業収益が産出する基礎的な財務体質を強化するとともに、将来のキャッシュフローを増加させる投資活動の実行をいたします。

(3)　経営システムの整備・強化

コンプライアンス・内部統制のより一層の強化を図るとともに、更に強固なリスクマネジメント・システムを構築します。

3. 中期経営目標（連結）

単位：百万円

	2013 年度	2014 年度	2015 年度
売上高	44,000	46,000	48,500
営業利益	500	700	900
経常利益	600	800	1,000
当期純利益	400	550	650

4. 中期経営目標を達成するための基本戦略

(1)　新規事業の展開

①　海外拠点を活用し、最先端技術の発掘をより積極的に進めます。

②　現場力をより強化し、既存事業の周辺領域での新規事業を開拓します。

③　再生可能エネルギーや次世代ガス・鉱物資源開発の分野での新規事業開拓を進めます。

(2)　既存事業の強化

① 資源開発や電力などのエネルギー関連事業への注力により、既存事業から新たな商材やビジネスチャンスを創出いたします。

② 鉄鋼・プラント関連事業ではよりグローバルな視点から、世界の市場ニーズを重視したビジネス展開を行います。

③ VA（Value Added）, Niche & Global を事業開拓戦略の基本とし、独自のソリューションを展開することにより、新たなビジネスの発掘、育成を積極的に行います。

(3) 海外展開の強化

① 海外拠点を活用し、当社グループの横断的な事業展開により、グループ全体の収益力を高めてまいります。

② 欧米拠点の新たな事業機会を創出し、グループとしての強力な収益源に発展させるべく再起動いたします。

(4) グループ経営の強化

① より積極的な投資活動を内外で実行し、グループとしての新規事業の具現化を図ります。

② グループ企業の経営基盤強化のために、グローバルでダイナミックなシナジー効果を高めてまいります。

以上